

5月8日～5月26日（3週間）中学理科

教育実習では私たちが中学生の頃とは授業スタイルが大きく異なっていたため最初は戸惑いがありました。先生が黒板を書き、説明をするというスタイルではなく生徒たちが黒板を完成させ、説明まで行うような授業スタイルでした。初めての授業では最後のまとめを私が話して終わらないといけないと思い授業をしたがあまり上手くいきませんでした。上手く生徒に任せることで、私は足りない部分を補足する感じで授業を進めていくと、生徒の考えを深めながら授業を進めることが出来ました。また、授業自体が理論立てて考えることがメインだったのですが、授業の回数を重ねるごとに生徒の話合いも盛んになり、理論立てて考えることがどんどん出来るようになっていくのを見て、私はすごく嬉しかったです。生徒が楽しそうに授業を受けているのを見て、私もすごくやりがいや達成感を感じ、私自身も授業を楽しんで行うことが出来ました。

私が難しいと感じたのは生徒との距離感です。コミュニケーションを取りながらも友達の様になってはいけないため、ちょうど良い距離感をつかむのが難しかったです。また、生徒と接するときは特に言葉遣いに気をつけていました。私の何気ない一言が大きな影響を与えてしまう場合もあるため言葉は慎重に選んでいました。

多くの学びがあり、さらに教師になりたいと思える3週間でした。